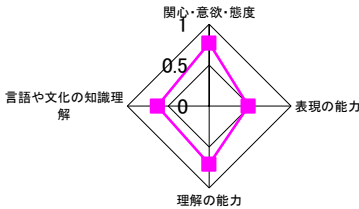


内容別・観点別の分析

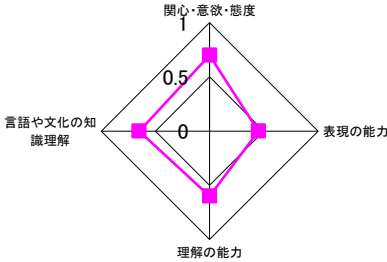
(様式2)

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	77%
表現の能力	48%
理解の能力	71%
言語や文化の知識理解	63%



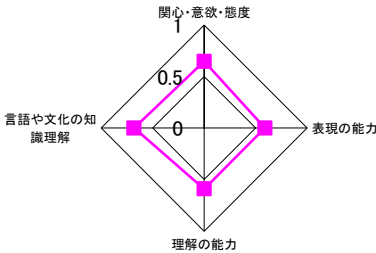
定期考査及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	70%
表現の能力	45%
理解の能力	60%
言語や文化の知識理解	65%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	65%
表現の能力	59%
理解の能力	59%
言語や文化の知識理解	68%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画

(様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	・ ページごとの単語テストを実施しているが、語数が少ない分負担なく単語を覚えられている。毎回復習として教科書本文の単語調べと本文写しをしているが、基本を大切にするためにも継続していきたい。表現力が弱いので授業中に積極的に発表させるとともに文章を書く練習を重ねる。	・ スピーキングに関しては堂々と発表できる生徒が多いが、基本的な表現から自分の身近な話題を話せるよう指導していく。ライティングに関しては教科書やワークの基本文を基にできるだけ多くの文を与え自己表現のモデルとなる文に触れさせ、まとものある文を書けるように指導していく。	・ 補充的な学習に関しては、定期考査後にしっかりと振り返りの時間を取り、自分ができなかった所を把握させるとともに、疑問に答えていくようにする。 ・ 発展的な指導に関しては、英作文指導で、+1文を考えさせてより良い文章を作っていけるようにする。
2年	・ 単語テストや本文の書き取りを行わせているので、単語力や予習などの家庭学習は身に付いてきている。しかしながら、自己表現力、特にスピーキングテストなどでの会話における表現や態度に課題が残っている。今後もスピーキングテストの継続的実施と英作文指導を行う。	・ スピーキングに関しては発表できる生徒が多いが、基本的な表現から自分の身近な話題を大きな声で話せるよう指導していく。継続的なスピーキングテストを実施していく。英作文に関しては教科書やワークの基本文を多く与え自己表現の文に触れさせ、文を書けるように指導していく。	・ 補充的な学習に関しては、放課後の時間を活用して、補充教室を実施する。 ・ スピーキングテストの継続的な実施と英作文や単語のリストを使って確認テストを行っていく。
3年	・ 単元の単語テストやスピーキングコンテスト実施した結果、単語力は強化されてきているが、表現力や文章読解力にはまだまだ活かしきれていない。パターンプラクティスを充実させるとともに、自分の思いを込めるなどオリジナリティにあふれ、意味ある英文を作らせる活動を増やす。	・ 表現の一つであるライティングに関してはワークなどを通して基本文の定着を図り、もう一方のスピーキングに関しては暗唱テストやオリジナルのスキットを作成させ発表させるなどの活動を増やしていく。	・ 補充的な指導に関しては定期考査1週間前の放課後時間を利用し質問教室を実施する。 ・ 発展的な指導に関しては、和英辞書を活用させ、より身近で主体的かつ実用的な英文を書かせていく。